

次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業 平成 18 年度委託事業報告書(領域 1)

大 学 名

凡例

青字：記入例

赤字：注記

平成18年度事業報告書（領域1）

1. 基礎情報

大学名： _____

記入日： _____

記入者： _____

機関リポジトリ情報

| | | |
|-----|------------|---|
| (1) | リポジトリ名称(注) | 情報大学リポジトリ（仮称） |
| (2) | 公開URL | 未定 平成19年10月1日公開予定 |
| (3) | BaseURL | 未定 コンテンツは http://www..../.../ よりダウンロード可。 ID:... PW:... |

(注)名称未定の場合はその旨，記載してください。

評価委員が評価時点でのシステムおよびコンテンツの品質を評価しますので、システム公開前
の場合は、外部からアクセスできるURLを記入してください。システム未導入など場合には、
コンテンツのサンプル・データをダウンロードできるサイトを作成するか、この報告書に添付し
てください。

2. コンテンツ収集・利用促進活動

| (1)説明会，報告会等開催状況 | 実施回数 | 内容 |
|-----------------------------|------|----|
| (a)研究者向け学内説明会(会議/研修形式)の実施回数 | | |
| (b)研究室訪問等教員に対する個別啓蒙活動の回数 | | |
| (c)国際ワークショップ等での報告 | | |
| (d)国内ワークショップ等での報告 | | |
| (e)ワークショップ主催，共催，後援等 | | |

| (2)記念行事等 | 日付 | 内容 |
|----------------------|----|----|
| リポジトリ開設記念等のマイルストーン行事 | | |

| (3)他システムへの登録 | 日付 | 備考 |
|---|----|----|
| (a)リポジトリ・ディレクトリへの登録 | | |
| ・ Directory of Open Access Repositories | | |
| ・ Registry of Open Access Repositories | | |
| (b)外部検索システムとの連携 | | |
| ・ OAIster(OAI-PMH データプロバイダとして登録) | | |
| ・ Google scholar | | |
| ・ Scirus | | |
| ・ その他() | | |

・この項目はCSI事業全体の総括をするときに、広報活動がどの程度行われたのかの指標の一つにも使用します。

(4) その他の特筆すべき促進活動（学内システムとの連携，イベント等）

3．システム導入進捗状況

| | 項目 | 日付 | 備考 |
|-----|---------------|-------|--|
| (1) | 利用システムの選定 | 年 月 日 | |
| (2) | 導入予定システム | | |
| (3) | ソフトウェア導入 | 年 月 日 | |
| (4) | NIIからのハーベスト開始 | 年 月 日 | ハーベスト開始時または juni i2 フォーマットへの対応完了日を記載 |
| (5) | 試験公開 | 年 月 日 | |
| (6) | 本公開 | 年 月 日 | |
| (7) | 経費 | | |
| a) | 初期導入費 | 千円 | |
| b) | 保守費用 | 千円 | |
| c) | 開発費 | 千円 | |
| (8) | 特記事項 | | ・システムを自力で導入したり，少ない予算で導入したなどのことがあれば，記述してください。 |

・平成17年度以前にシステムを導入した機関は，参考のために備考欄に各項目の完了年月日を記入してください。

4．リポジトリ構築・運用に関する制度整備状況

会議開催日等，整備状況の過程がわかるような資料を添付

| | 項目 | 状況 (整備した日付等) | 備考 |
|-----|---|-----------------|----|
| (1) | 学内トップレベルの承認 | | |
| (2) | リポジトリ構築方針の文書化 | | |
| (3) | リポジトリ運用規則の文書化 | | |
| (4) | リポジトリ構築／運用に係る全学的 委員会の設置 | | |
| (5) | リポジトリ構築／運用についての事務 組織整備 各部門の責任範囲がわかるような，リ ポジトリ関連事務組織図 | | |
| (6) | 著作権許諾に関する活動 | | |
| | <p>特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度以前に制度を整備している機関は，参考のために備考欄に各項目の完了年月日を記入してください。 ・上記(1)から(6)に関して特に記述しておきたい事項があればここに記述してください。 | | |

5. コンテンツ作成件数

| | 種別 | 平成18年度 | | 平成19年度 | |
|------|------------------------------|---|--------|------------|--------|
| | | メタデータのみ(件) | 本文 (件) | メタデータのみ(件) | 本文 (件) |
| (1) | 学術雑誌論文 | | | | |
| (2) | 学位論文 | | | | |
| (3) | 紀要論文 | | | | |
| (4) | 会議発表論文 | | | | |
| (5) | 会議発表資料(ポスター・スライド) | | | | |
| (6) | 図書 | | | | |
| (7) | テクニカルレポート | | | | |
| (8) | 研究報告書 | | | | |
| (9) | 一般雑誌論文 | | | | |
| (10) | プレプリント | | | | |
| (11) | 教材 | | | | |
| (12) | データ・データベース | | | | |
| (13) | ソフトウェア | | | | |
| (14) | 上記以外のコンテンツ | | | | |
| (15) | (適宜枠を増やして記入してください) | | | | |
| (16) | | | | | |
| (17) | | | | | |
| (18) | | | | | |
| (19) | | | | | |
| (20) | | | | | |
| | 合計 | | | | |
| | オーバーレイジャーナル 注1の本文コンテンツの有無 | | | | |
| | 備考 | <p>・「メタデータのみ」には本文コンテンツのないメタデータ件数を記載してください。</p> <p>・コンテンツの特色について、特に記述する必要がある場合はこの欄を使用してください。</p> | | | |

注1：オーバーレイジャーナルとは、ここでは、部局・学科等が発行する電子ジャーナル（紀要を含む）で、本文が機関リポジトリに搭載されているものを言います。

平成18年度の欄には年度内に作成予定の件数も含めて記入してください。

平成19年度の欄には予定件数を記入してください。

この項目は機関リポジトリ評価指針作成の参考にも使用します。

6. コンテンツ作成コスト

| | 評価項目 | 平成 18 年度 | |
|-----|------------------------------------|----------|---|
| (1) | 担当人数(正規職員) | FTE | |
| (2) | 正規職員担当内容 | | |
| (3) | コンテンツ作成経費(CSI 経費分のみ) (注 1) | 千円 | |
| (4) | その他人件費 (注 2) | 千円 | |
| (5) | コンテンツを登録した教員数, および全教員数に対する割合 (注 3) | 名 | % |
| | 備考 | | |

注 1. コンテンツ作成（電子化）のための経費やメタデータ入力のための人件費

注 2. データ入力以外の作業(対象コンテンツ調査, 広報等)のための人件費

注 3. この項目は, 必須ではありませんが, できれば記載してください。

- ・コンテンツを登録した教員数とは, 論文を提供した教員の実数になります。
- ・研究員や大学院生, 共著者の数は含める必要はありません。
- ・全教員数とは, 正規教員の数となります。いずれも概数で構いません。

FTE(Full Time Equivalent)とは, 当事業に関連する職員について, 総勤務時間に対する当事業関連作業時間の割合を足しあわせたものです。

例: 勤務時間週 40 時間の正職員 A,B,C の 3 人が担当し, A は毎週 20 時間, B は 10 時間, C は 5 時間事業に費やすとするとき, FTE は $0.5+0.25+0.125=0.875$ となります。

この FTE の数値は, 個々の機関の評価に直接関係するものではありません。CSI 事業全体の総括をするときに, 機関リポジトリ構築, 運用にどれだけコストがかかるかを算出する指標の一つに使用します。

7．平成18年度事業総括

- ・報告書の項目の中で特に記述しておきたいものについて、詳細がわかるように、当該項目と対応付けて記述してください。
- ・また、平成18年度中にシステムを公開しない場合には、平成18年度の作業内容や力点を詳しく記入したうえで、平成19年度の事業実施スケジュールと対応させて記述してください。

8．平成19年度事業計画

1．計画概要

- ・18年度報告書での記載内容（進捗状況およびコンテンツ数・予算）を踏まえたうえで、業務計画の内容・スケジュールを記載し、各内容に対して予算明細が対応するように記述してください。
- ・特に未公開の大学は公開までのスケジュールについて具体的に記述してください。

8．平成19年度事業計画

2．経費

| | 設備費(千円) | 人件費(千円) | 運営費(千円) | 合計(千円) |
|------------------------|---------|---------|---------|--------|
| 平成19年度(計画) | | | | |
| (参考) 平成18年度(記入時実績額) | | | | |

| 設備費の明細（金額単位：千円） | |
|-------------------------|----|
| 品名・仕様 (数量×単価) (設置機関) | 金額 |
| ・購入する設備名と経費 | |
| 合計 | |

| 人件費の明細（金額単位：千円） | |
|----------------------|----|
| 内容 | 金額 |
| ・ポストクや研究職員を雇用する場合の経費 | |
| 合計 | |

| 運営費の明細（金額単位：千円） | |
|-------------------------|----|
| 内容 | 金額 |
| ・システム開発経費：システムの開発経費 | |
| ・調査費：委託等による調査経費 | |
| ・雑役務費：データ作成等を行う委託職員の経費 | |
| ・外国旅費：海外出張に係る経費（目的，用務先） | |
| ・国内旅費：国内出張に係る経費（目的，用務先） | |
| ・消耗品 | |
| 合計 | |

平成18年度実績を元に計画を立て、作成してください。

平成19年度委託額は、平成18年度事業の評価と平成19年度計画及び事業全体の予算総額を勘案して、平成19年6月頃にお知らせします。

9．平成20年度以降の事業計画

- ・本委託事業終了後，大学における本事業の安定的かつ継続的な実施計画を具体的に記述してください。
- ・特に経費や人員をどのように維持するかについての展望を記述してください。

10．要望等

・本委託事業についてのご意見，ご要望等を自由に記述してください。